

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	文化人類学入門	学 期	前期	塩谷もも (島根県立大学 教授)
		単 位 数	1	
		時 間 数	16	
目 的 (ねらい)	文化人類学的な視点から、異文化と多様性について学ぶ。いくつかのテーマを設定し、世界各地（アジア中心）と日本の事例を比較する。共通性と異質性に注目しながら、文化的特徴を理解する。広い意味での異なる文化を理解するために必要な知識を身に着けることを目的とする。			
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な文化をとらえる視点が身につく。 ・広い意味で異文化に対する関心を深め、多様な人と接するための知識が身につく。 ・異文化と比較しながら、日本の文化・社会について考えられるようになる。 			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	文化人類学と文化	文化をテーマに考える	講義
	2	異文化との出会い	異文化のとらえ方をテーマに考える	講義
	3	フィールドワークとは	フィールドワークをテーマに考える	講義
	4	家と文化	家と文化をテーマに考える	講義
	5	言語と文化	言語と文化をテーマに考える	講義
	6	衣服と文化	衣服と文化をテーマに考える	講義
	7	宗教と文化	宗教と文化をテーマに考える	講義
	8	食と文化	食と文化をテーマに考える	講義
教 科 書	なし（プリント資料を配布）			
参 考 文 献	奥野克巳・花淵馨也 共編 『文化人類学のレッスン—フィールドからの出発』増補版 学陽書房			
評 価 方 法	定期試験 60% 授業への参加度・ワークシート 40% 評価は上記の総合評価とする			
関 連 科 目				
自 己 学 習 に 関 する 指 針	(1) 関心を持ったテーマについて、授業で紹介する参考文献等を参考にしながら、文献を読んで、知識を深める。 (2) 各テーマについて、新聞記事やインターネットなどを通じて情報収集し、それらをもとに自分で分析しながら考える。			
そ の 他 の 通 知 事 項	授業では課題シートの提出があるので、授業の内容をふまえて自分がどう考えるか、意識をしながら受講してください。授業内で意見等、お聞きすることもあります。			